



NPO PTPL “ともいき” 便り No.46

■雨水（うすい）

2月19日から3月5日までの節気

（2014年2月19日発行）

ソチオリンピックのニュースに一喜一憂する毎日。オリンピック選手のインタビューを聞いていて思うのは、「感謝」という言葉が何度も出てくるなということです。選手のみなさんは、苦しい練習を重ねて代表のキップを手にした方々です。自分が一番頑張ったはずなのに、「家族」「支えてくれたまわりの人みんな」に、必ず「感謝します」と言います。15歳の平野さんも、41歳の葛西さんも。「感謝」は「ありがとう」の気持ち。あらためて温かい言葉だなと感じています。

さて、節気は雨水へと入ります。「雪や氷が融けて水面に春の光が差し込み、降る雪は雨に変わる」ころ。今年は東京も大雪にみまわれました。近所総出の道路の雪かきが終わったと思ったら、また雪が降りはじめるという始末。雪国の方からは、そのくらいの雪で大騒ぎしてと笑われそうですが、雪かきで腰は痛いし。いやはや参りました。

まだ春は遠くにいるようです。そこで家の中で春らしさを感じようと思い、お雛様を出しました。我が家のお雛様は、母方の祖母が買ってくれたものです。45cm×35cm×35cmのガラスケースの中に5段飾りのお雛様たちがおさまっています。ちょっとふくよかで朗らかな感じですが、半世紀以上前のものなので、ちょっと古風なお顔をしています。雛祭りは桃の節句とも言われ、平安時代に始まり江戸時代に盛んになりました。初めは、けがれを祓う行事でしたが、今では女の子の健やかな成長を祈る行事になりました。（雛祭りについての詳しい由来は「ともいき暦」をご覧ください。<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2014/>）私が0歳のころから毎年飾られてきたお雛様。お陰さまで、昔の女の子は健やかに成長し、お雛様を出すのにさえハアハア息切れするまでに老いました。小さ

なころは、お姫様が自分だと思っただけでしたが、今は三人官女のまん中。お齒黒の女性に親しみを感じています。

雛祭りは、昔は旧暦の3月3日に行われていました。今年は新暦4月2日に当たります。桃の花が咲く頃です。新暦の3月3日にはまだ寒くて桃は咲いていませんが、不思議なことに花屋さんには桃の花が売られています。なぜでしょう。（ご意見はNPO PTPL事務局へ）さて、桃は中国や日本では魔よけの力があるとされていました。だから鬼退治にいく男の子は桃からうまれなければいけなかったのです。雛飾りには、桃と白酒を飾ります。桃が太陽、白酒が月をあらわしているという説もありますし、紅白でおめでたいという説もあります。雛の膳は、色鮮やかなちらし寿司、はまぐりのお吸い物、ひなあられに菱餅。春色の美しい景色のよう。♪は一るよこい は一やくこい♪と歌いたくなります。

2月25日は京都の北野天満宮で梅花祭が行われます。菅原道真が大宰府で亡くなった日です。

東風吹かば匂い起こせよ梅の花、主なしとて春は忘れそ

ふと思いました。近所の人に住んでいた高齢の女性が亡くなり、だれも住まなくなった家の庭に八重桜の木があります。空き家になってからも毎年、きれいに花を咲かせています。主なしとて春は忘れそ……。

春は、必ずやってきます。花粉症の身には、少々気が重いのですが、それでも暖かな春が待ち遠しいです。

文：すとうあさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事）

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

●大雪、各地に甚大な被害、そして深い傷あと。

テレビ、新聞のニュースでご存知のように、2月8日（土）、9日（日）、発達した低気圧のため、長時間にわたり降り続いた大雪は、関東・甲信・東北（太平洋沿岸）の各地に記録的な積雪をもたらし、翌週の2月14日（金）、15日（土）、16日（日）にも発達した低気圧が、関東・甲信越・東北・北海道の一部の各地に記録的な積雪と強風と厳しい寒さをもたらし、各地に甚大な被害と

深い傷あとを残しました。

海外を見るとアメリカ東部の大雪、イギリスの洪水などと地球上で異常気象が常態化しているように感じられます。

また、インドネシア・ジャワ島・クルド山の噴火、中国各地の大気汚染、世界的な水不足、エネルギー問題など、環境問題も深刻化しています。

私には詳しいことはわかりませんが、どうも地球温暖化が私たちが考えるより早く進行しているのではないのでしょうか？われわれ人間の活動が地球の自然のリズムを壊しているのではないのでしょうか？

地球がわれわれ人間に「少欲知足」の生活を送るように警告しているのではないのでしょうか？

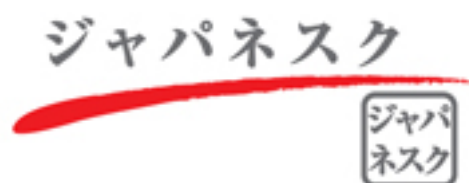
これからは人間の側から一方的に自然を見るのではなく、人間も自然の一部であるという観念のもと、回帰循環する自然のリズムの中で生きるという「生活の知恵」を持たねばならないでしょう・

もう50年以上にもなるレイチェル・ルイズ・カーソン著の「サイレント・スプリング」：邦題「沈黙の春」がしきりに思い出されます。

これからの時代、「ともいき」という価値観、生活観が地球人にとってとても、とても大切なことと思われまます。みなさんはどう感じますか。興味のある方、何人かで集まってNPO PTPLのスタッフと一緒に座談会をしてもいいのではないかと考えています。ご意見などお寄せください。

● NPO PTPL が提唱する“ともいき”

地球上に生きる人間、一人ひとりが健康・食料・水・エネルギー、そして環境問題に関心を持ち、「人と共に、自然と共に、地域とともに、そして祖先と共に、子孫と共に、結び合い、助け合い、支え合い、譲り合って生きる」という価値観、生活観です。さあ！！出来ることから実行しようではありませんか。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

● 2週連続の週末の大雪

東京に住みだして40年以上経ちますが、2週連続の大雪というのは初めてと思います。そして2週連続の雪かきも……。

でも、雪かきもいいものですね。週末ということもあるのですが、普段顔も合わさない近所の方々と声かけ会いながらの雪かき作業もいいコミュニケーションになりました。腰痛の代償もありますが……。

● ソチオリンピック観戦で寝不足の方も多いと思いますが、日本人が活躍する場面はやはりいいものですね。思わず見ていて力が入ります。結果はともかく、オリンピック規模のスポーツイベントは国民に勇気と力を与えてくれます。今年は6月にサッカーワールドカップがブラジルで開催されます。ここでも日本チームの活躍を期待したいものですね。そして、2020 東京オリンピック、いやが上でも夢と期待が膨らみます。

● Facebook「ともいきぐらし (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)

「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」

(<https://www.facebook.com/oragafuji>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503

FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp